



江別のみなさん、こんにちは。
寒い寒い2月です！。とは言え、雪掻きや仕事、
買い物などで外出しなくてははいけません。ヒート
ショックには、十分気をつけてください。ゴミ出し
などで「ちょっとだから！」と、薄着のまま外へ出
ることのないように注意しましょう！。

代表取締役社長 石崎 昭仁

東京防災へ



冬の防災対策、暖房編

今年も一ヶ月が経ち、いつもの生活に戻った頃と思います。昨年の暮れから本州で地震が多発しました。幸い大きな被害はなくホッとしています。

また昨年12月には北見、帯広、釧路と道東方面で停電が発生しました。北海道のこの時期の停電は一番辛い状況に陥ります。昔は薪ストーブ、灯油暖房機でも煙突があった為、電気が止まっても暖房が可能でした。しかし現在の暖房器具は、電気がなければ燃焼させる事ができなくなっています。

★現在は電気がライフラインの要となっています。

現状の暖房形態に合わせた電源の確保が必要になると思います。カセットガスボンベを使用した簡易暖房などがありますがガスを使う為、換気を十分行い一酸化炭素中毒にならない様に十分注意が必要です。カセットガス暖房にも数種類あります。イワタニのHPに掲載されていますので、ご参考にされてはいかがでしょうか？。簡易的な暖房ですので、大きなリビング全体を暖める事は難しいですが、停電などで短期間の補助暖房として有効だと思えます。



イワタニのカセットガスストーブ。電気を使わず温風が出るタイプ。カセットガス1本標準で約1時間40分、弱で約2時間20分暖房できます



イワタニのストーブサイトへ

Iwatani

注意！！
換気には十分注意してください



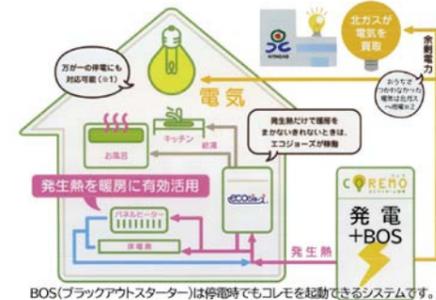
停電時に一番困るのは冷蔵庫などの食品に対するケアです。ここで大型のモバイルバッテリー(1500Wタイプ)を用意すると、灯油ポータブルストーブと冷蔵庫を両方使用できます。

ポータブルストーブ(満タン5ℓ)は弱運転で約70時間暖房が可能です。ジャクリのポータブル電源1500Wタイプですと、電源供給可能時間はおよそ50時間です。約2日間暖房が可能になります。

冷蔵庫400ℓ程度のサイズ単体ですと、約23時間使用が可能です。ストーブと冷蔵庫両方となると大型モバイルバッテリージャクリ1500Wだと約16時間程度ケア可能ですが、いきませんが、ある程度の対策になると思います。現実的な考えを基に、工事の可否、皆様の家族構成など環境に合わせた機種設定など、日頃からシミュレートすると良いのではと思います。

冬季間の防災対策を再度見直してみよう！

通常は水、食料、ラジオ、懐中電灯、電池などを用意しましょう!!と、言われています。しかし北海道では冬季の対策も今後時間をかけ検討していく必要があると思います。防災対策として、北海道の場合は冬季の暖房が大きなハードルとなります。道東方面の停電で冬季の暖房は生命に直結する事になると改めて感じました。



BOS(ブラックアウトスターター)は停電時でもコレモを起動できるシステムです。

新築住宅の場合、太陽光発電と蓄電、ガス発電とコレモ+BOSなど、防災対策を計画、設計段階で盛り込む事が可能です。

リフォームの場合、太陽光発電は屋根の上にかかなりの重量物を載せる為、住まいの建築年数によっては十分な検討が必要です。個人的なオススメは、エコジョーズ+コレモ+BOSと言うシステムが安定していると思います。

この先リフォームなどで大規模工事をご計画の場合は、防災対策を盛り込みご検討されてはいかがでしょうか？。太陽光発電は、屋根の上に大量の太陽光パネルを載せると、耐震的に不利になる場合が考えられます。十分な建物強度がある場合はオススメです。

カーボンニュートラル対策への新しい予算に期待！

資料出典：国土交通省
子どもみらい住宅支援事業の概要
国土交通省所管 令和3年度補正予算案 542億円

1. 制度の目的
子育て支援及び2050年カーボンニュートラルの実現の観点から、子育て世帯や若年夫婦世帯等による高い省エネ性能を有する新築住宅の自費や住宅ローン減税等に対して補助することにより、子育て世帯や若年夫婦世帯の住宅取得に伴う負担軽減を図るとともに、省エネ性能を有する住宅ストックの形成を図る。

2. 補助対象
高い省エネ性能を有する住宅の新築、一定のリフォーム(事業者が申請)
※補正予算案(決定)は令和3年11月26日以前に契約締結し、事業者登録(令和4年1月開始予定)後に竣工したものに限る。
子育て世帯・若年夫婦世帯による住宅の新築 住宅のリフォーム

対象住宅	補助額	対象工事	補助額
①ZEH、Nearly ZEH、ZEH Ready、ZEH Oriented (国の省エネ基準の水準を超過し、かつ省エネ性能評価基準に適合するもの)	100万円/戸	①(必須)住宅の省エネ改修	リフォーム工事内容に応じて定める額 上限30万円/戸
②高い省エネ性能を有する住宅 (国省エネ基準を超過し、かつ省エネ性能評価基準に適合するもの)	80万円/戸	②(任意)住宅の子育て対応改修、耐震改修、バリアフリー改修、空気清浄機・換気機等付与エアコン設置工事等	子育て世帯等による子育て支援等に関する事業費(上限30万円/戸)
③省エネ基準に適合する住宅 (国省エネ基準に適合するもの)	60万円/戸		

※対象となる住宅の延べ面積は、50㎡以上とする。

3. 手続き
補助額以上の申請書提出
補助額以上の申請書提出
補助額以上の申請書提出
補助額以上の申請書提出

弊社も事業者登録を致しました。
COP26で温室効果ガス削減が急務である事は皆様ご承知の事実だと思います。建物の高断熱化は将来的な事を考えるとメリットは多いと思います。現在各部門で協議されていますが、補助金も国会を通り予算化されました。時期的な問題もありますが、前回のグリーン住宅ポイントでは30万ポイント/戸のポイント発行でしたが、今回の事業は若い世帯に対して60万円/戸と補助金額がアップしました。契約は令和3年11月26日～ですが、着工は令和4年1月11日以降(事業者登録後)です。今回の事業は色々細かい制限がありますが、39歳以下又は18歳未満のお子様がいいらっしゃるご家庭は新築住宅建築に当たり補助金の対象になります。詳細はお問い合わせください。

ヒートショックに気をつけよう！

温度差には、十分気をつけましょう！！

2月、寒さが一番厳しい時季です。

お風呂場の室温と脱衣室の室温、そしてお湯の温度。この温度差に十分注意が必要です。また、42℃以上のお湯に急つかると血圧が急上昇し、色々な症状が現れます。くれぐれも急の付く動作には注意が必要です。まずは脱衣室の室温とお風呂場の室温を上げ、ヒヤッとしない温度設定にする必要があります。これからは厳しく冷え込む季節です。脱衣室の室温と浴室の温度差には注意が必要です。

脱衣室を暖める対策、3つの案→

脱衣室を暖める事によりヒートショックのリスクを低減できます

少し低め 寒 暖

熱いお湯につかる事により血圧が急低下し、気を失い溺死する事もあると報告されています。注意が必要です。

200V電気ヒーター

オイル電気ヒーター

温水パネルヒーター